

No. 1625

にぎわうサーフ'90

— 藤沢 —

梅雨の合い間をぬって早くもにぎわう湘南海岸。

4月29日から相模湾を舞台にサーフ'90「相模湾アーバンリゾートフェスティバル1990」が開かれています。

これは21世紀に向けて海とのかかわり方を多彩なイベントを通して探り出そうという試み。藤沢、三浦、平塚などの会場で10月10日まで各種の催しが展開されます。

メインの藤沢会場の浜辺には遊園地や丸太でつくられた「湘南ニューウェイブストリート」が若者、家族づれで混み合っています。渚のステージでは日本の若者のバンドのあとアメリカから来日した「パシフィックユニバーシティジャズバンド」の演奏が会場の雰囲気を盛り上げていました。

これから夏のシーズンを迎え「サーフ'90」の気もより高まりそうです。

「危険物安全週間」

— 東京 —

今年から6月第2週を消防庁では「危険物安全週間」に設定し危険物の保安に対するキャンペーンを行うことになりました。6月4日東京四谷のスクワール麴町で第一回全国危険物安全大会がひらかれ全国の危険物保安功労者、優良危険物関係事業所、標語入賞者などの表彰式が行なわれ、木村消防庁長官、皆川全国危険物安全協会理事長から表彰されました。

しかし安全週間を前に東京板橋区の化学工場で過酸化ベンゾイルが発火、爆発しました。この過酸化ベンゾイルは発火点が低く衝撃や摩擦で爆発する危険物です。爆発から一週間たった工場は爆発当時そのままの状態。死者6人、重軽傷者22人を出し住宅密集地の付近の住民を恐怖に落とし入れたのです。工場と道路をへだてた樹木も変色し爆発の恐ろしさを示しています。

東京消防庁ではこの爆発事故を重視して都内の危険物製造工場など240ヶ所を緊急特別査察を行いました。品川区内の危険物貯蔵所を査察する地元の消防署係官たち。

6月8日、東京電力大井火力発電所で「大型タンクが亀裂し原油に引火」と想定した消防演習が実施されました。地元事業所の自衛消防隊を始め品川、大井、大森など消防部隊22隊、160名が出席し、消火活動を真剣に行い日頃の訓練ぶりを発揮しました。

石油、灯油等の危険物は我々の生活になくてはならない物ですが一旦被害が発生すると大事故となる危険物なのです。家庭、事業所、工場で危険物の取り扱いには十分に注意して危険を取り除きたいものです。